

今回の事件にあたって

モドゥモイジャ代表 川崎 栄子

私を知る限り北朝鮮の小型船舶は一年に数十隻も日本へ流れ着いています。そのほとんどは白骨死体を乗せているし、中には今度のように生きてたどり着くこともあります。どれだけ沢山の舟が遭難したら一年に数十艘もの舟が日本にまで流れ着くのでしょうか？私は北朝鮮の舟が流れ着いたという報道に接するたび、限らない胸の痛みと激しい怒りがこみ上げてきます。

ぼろ舟と少量の食糧しか準備できない漁夫たちを海に追い立てる金正恩政権はいくら憎んでも憎み足りません。

海に出る度に生きて帰れるかどうか分からない漁夫たちは北朝鮮の漁夫達しかいません。そんな漁夫にさえ帰国者はなれません。(逃げ出すかと思って)

海で亡くなった人たちは死体が確認されない限り死亡と認められませんから行方不明者扱いになり、家族はひどい境遇に置かれることとなります。今度、日本に生きてたどり着いた8人が「北朝鮮へ帰りたい」というのもそんな所にも原因があります。

でも、本当は、彼らは北朝鮮へ戻ってはいけないのです。「本人たちが帰りたいというから返す」ことはそんなに簡単な問題ではないのです。

彼らの中にはまず彼らを統率する班長がいます。そして朝鮮労働党責任者。党員でない人も彼には絶対服従しなければなりません。その党責任者の意思が全体の意見として反映されるのです。

しかし帰国した後彼らを待ち受ける待遇は計り知れない悲惨なものです。外国へ流れ着いて上陸して戻ってきたものとして彼らはスパイ容疑で厳しい取り調べを受けます。何の罪もなかったとしても一人ひとり処分されてしまいます。もちろん家族も。

彼らが処理されるであろうことは板門店を通過して逃げた兵士を北朝鮮側から銃撃した事件を見てもご理解いただけると思います。

日本の皆様、彼らに自由と民主主義があるという事を知らせ、人生には選択肢があるという事を考える機会を与えてあげてください。よろしく願いいたします。